

電動アシスト自転車の普及に向けた 取り組みについて

2019年 10月16日

パナソニック サイクルテック株式会社
技術・開発担当
山本 達明

1. 高齢者向けの商品ラインアップ

- ・健康寿命の延伸に向けて、高齢者を意識した商品を展開
- ・アクティブなシニア層に向けたスポーツ車にも注力



1) 弊社最軽量モデル
ビビ・L・20 21.7kg



2) 3輪ロングランモデル
ビビライフ



3) 電動アシストMTB
Xシリーズ

2. 普及活動

- ・移動式試乗体験車を全国拠点に配置、“**便利さ**”を提案
- ・スポーツモデルはコト体験を中心に非日常の“**楽しさ**”を提供



「電動アシスト自転車
試乗体感キャラバンカー」



- ・年間 290回開催
- ・9,600名ご試乗
(18年度実績)

シニア向けのe-MTBツアーの
実証実験※最年長70歳もご参加

3. 今後の展開に向けて

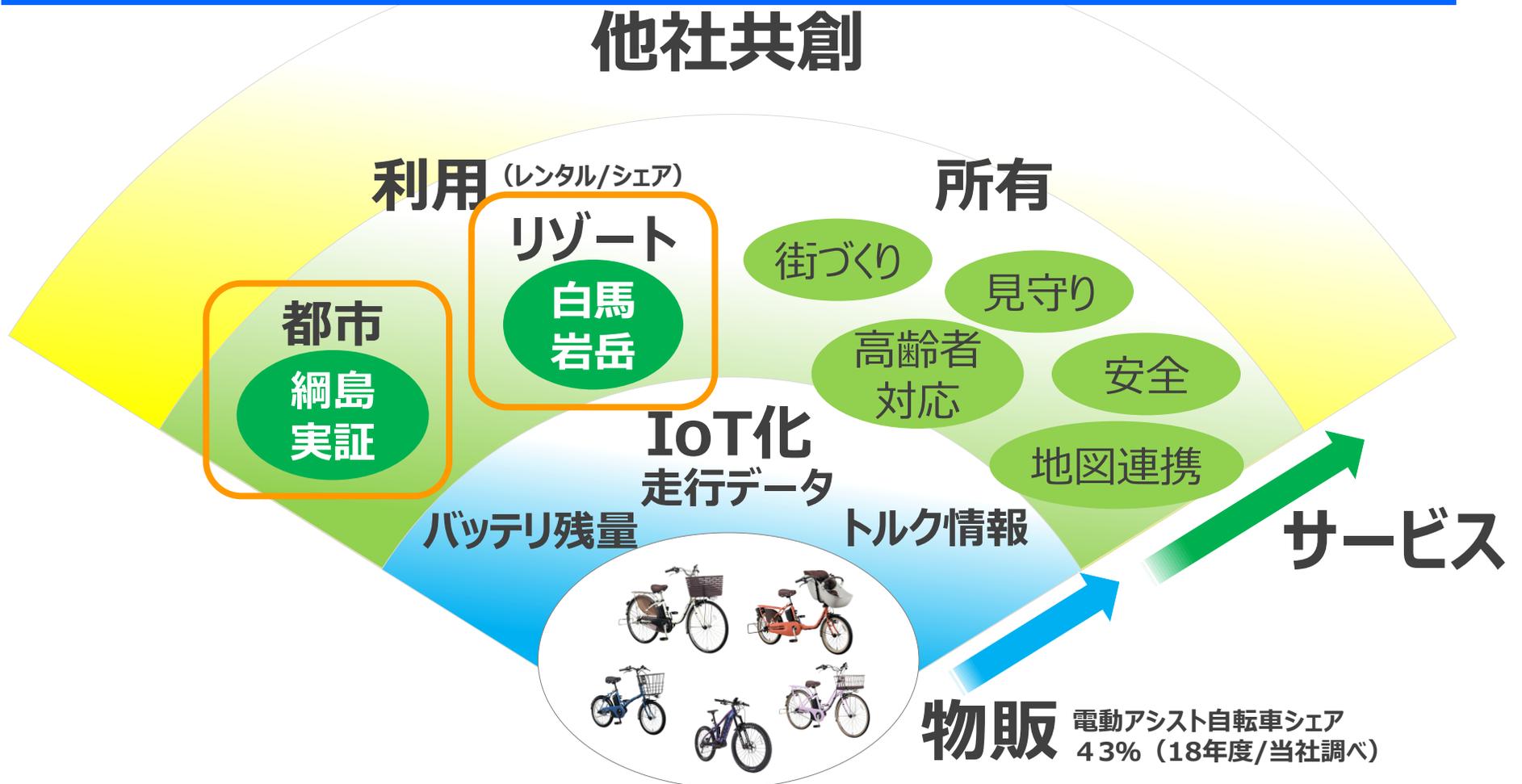
自転車のIoT化により安全で快適なモビリティ社会を実現



・将来の車車間通信も視野にIoT化を推進中

3. 今後の展開に向けて

- ・強みのある物販をベースに利用・所有者サービスを強化
- ・他社サービスとの連携へと拡大



3. IoT自転車の実証実験（1）

- ・ 綱島SST（横浜市）で30台のIoT電動アシスト車を導入
- ・ IoTを活用した安全・安心なモビリティ像を検証中



3. IoT自転車の実証実験 (2)

- ・GPSデータにより行動範囲、行先頻度の見える化が可能に
- ・搭乗者属性とのマッチングでの利用頻度・走行距離の確認が可能

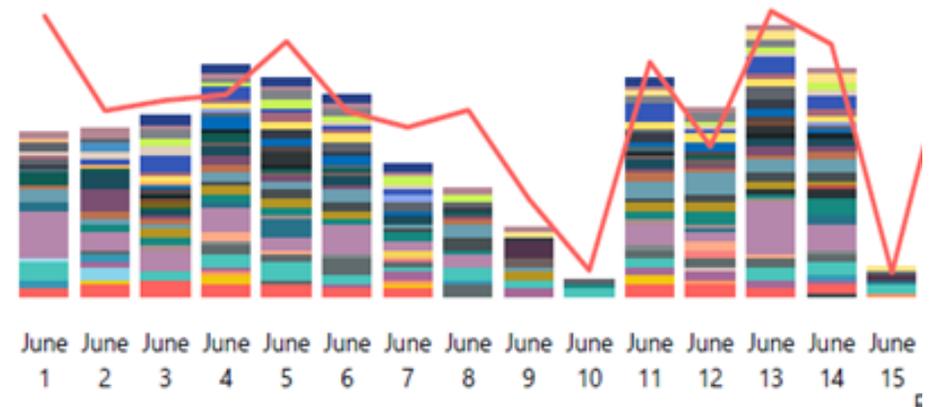
・想定以上に行動範囲が拡大



★：駐輪ポート ●：移動ポイント

・自転車搭乗者属性ごとの利用頻度/走行距離を見える化

走行距離



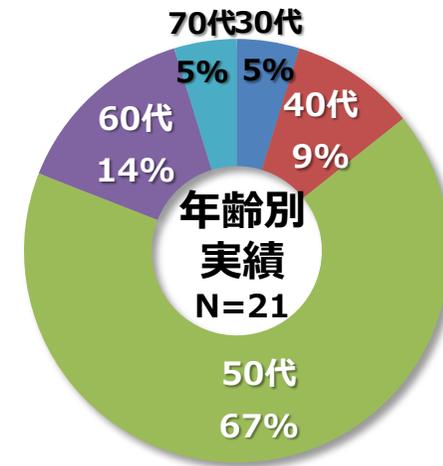
棒グラフ：搭乗者ごとの走行距離
折れ線：1日当たりの総走行時間

3. 健康寿命の延伸

- ・シニアでも電動アシスト自転車を使って、体力を補いながらスポーツを楽しめる環境を整備
- ・E-bikeレースにも60歳以上のシニアが参加



シニアでも楽しめる
e-MTBコースを地元観光
協会と整備（長野/白馬）



購入者属性

- ・モデル：XM-D2
- ・当社調べ

4. 弊社が考える高齢者向けの対応

◎ 安心・安全なモビリティ社会の実現に貢献

- 1) 健康寿命の延伸 → 外出しやすい環境を作る
 - ・取り扱いの良い車両の開発（軽量化、操作系）
- 2) 外出先での安心、安全をサポート
 - ・IoT技術の活用（GPS、センサーによる見守り機能）
- 3) より長く、健康で（アクティブシニア層）
 - ・スポーツモデルによるコト体験、屋外の楽しさを実感

Panasonic